

社会福祉法人祥和会

## 2021 年(令和 3 年)度事業報告

地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家  
ショートステイ五本松の家  
デイサービスセンター五本松の家

【施設の概要・職員配置】※２０２２年３月３１日現在

| 事業所名                                        | 定員   | 職員数（全体計：５０人）                                                 | 摘 要                                                           |
|---------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家                         | 29 人 | 施設長、介護職員 15 人<br>看護師、生活相談員、介護<br>支援専門員、管理栄養士、<br>機能訓練指導員、調理員 | 10 人×2 ユニット・<br>9 人×1 ユニット                                    |
| ショートステイ五本松の家<br>（短期入所生活介護・介護予<br>防短期入所生活介護） | 20 人 | 管理者、介護職員 9 人<br>看護師、生活相談員、管理<br>栄養士、機能訓練指導員                  | 10 人×2 ユニット<br>管理者、機能訓練指導<br>員、生活相談員、管理<br>栄養士、調理員は、特<br>養と兼務 |
| デイサービス五本松の家（通<br>所介護・介護予防通所介護）              | 25 人 | 管理者、介護職員 6 人<br>生活相談員、管理栄養士等                                 | 生活相談員は介護職<br>員 1 人兼務、管理栄<br>養士、調理員特養兼<br>務                    |

職員配置について、中途の退職等があったが随時補充できた。

【事業区分別事業報告】

２０２１年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当施設においても家族の面会制限、外出制限、集団のイベントの自粛などを行った。

一方、例年行っていた施設内行事は、ワクチン接種の確認や声掛けをしながら、入居者、利用者のニーズに応じて、感染症対策を行いできるだけ開催した。

家族の面会は、前年度から継続して窓越しでの面会としたが、施設内行事に家族の参加が困難であったため、行事や日常の様子を文章と写真で作成し、毎月の書類と一緒に郵送したり、SNS（ホームページ、LINE、Instagram）を活用して日常の様子をこまめに発信した。

また、職員研修や各種委員会については、換気やソーシャルディスタンスに配慮し、参加人数の制限や実施回数を調整した上で実施した。

１）地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家

【２０２１年度目標】

- ① 前年度に続き、入居者やご家族の安心・安全の確保、健康管理に重点を置き、感染症対策の徹底、職員の知識、技術の向上に努める。現在、重介護者が増えており、看取りケアの知識を深め、家族とともに入居者の看取りを支援する。
- ② 入居者の入院による空きベッドを毎月の延べ人数の１割にとどめ、退居から新規入居までの日数を７日以内とする。

入居者の平均年齢(令和4年3月31日現在の入居者)は、86.5歳(男性:84.4歳・女性:87.8歳)。

2021年度中の入居者33人(実人数)の要介護度は、4.2(男性:3.8、女性:4.4)となっている。

2021年度中の利用率は、98.6%、退居者は5人、その内訳は、施設内での看取り2人、医療機関での死亡3人であった。退居から入居までの日数は、最短で2日、最長で9日、平均5.1日。新規入居者は5人、入居前の内訳は、在宅3名、医療機関1人、老人保健施設1人となっている。

2021年度もコロナ禍による制限が多い中、行事は全体開催を控え、各ユニットで外出制限によるストレス改善等を検討し、さまざまな行事を開催した。

※各行事は、特養・ショートステイ・デイサービスともに開催。

|     |                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------|
| 4月  | お花見ドライブ・わらび餅、桜ゼリー作り、鯉のぼり、カステラ作り                             |
| 5月  | 薔薇鑑賞、端午の節句イベント、運動会、あじさい制作<br>お好み焼き・焼きそば・たこ焼き作り、バナナチョコプリン作り  |
| 6月  | お茶会、あじさいゼリー作り<br>かき氷<br>七夕飾り作成<br>新型コロナウイルスワクチン予防接種         |
| 7月  | うちわで飾り、七夕祭り<br>レモネード作り、フルーツポンチ<br>新型コロナウイルスワクチン予防接種         |
| 8月  | 花火大会<br>すいか割り・冷やしぜんざい作り<br>夏祭り                              |
| 9月  | おはぎ作り、月見壁画作り<br>さつまいもを使ったおやつ作り<br>アイスもなか作り<br>敬老の日イベント      |
| 10月 | ハロウィンカフェ(今年は各部門での開催)<br>スイートポテト作り<br>空手風体操大会<br>インフルエンザ予防接種 |
| 11月 | 秋の壁画作り、カレンダー作り<br>ドライブ(美術館へ行こう)<br>折り紙リース作り<br>停電アウトドア体験    |

|        |                                                |
|--------|------------------------------------------------|
| 12月    | クリスマス行事<br>もちつき                                |
| 1月     | お正月行事<br>初詣<br>おやつレクリエーション                     |
| 2月     | 節分行事・壁画作り・バレンタイン企画<br>豆まき<br>新型コロナウイルスワクチン予防接種 |
| 3月     | ひな祭り<br>お花見ドライブ<br>おやつレクリエーション                 |
| 毎月イベント | 第3木曜日夕方、出前レクリエーション（寿司）<br>美容院                  |

## 2) ショートステイ五本松の家

2021年度のショートステイ五本松の家の目標は、

- ① 利用希望されている方の思いにできる限りこたえられるよう、平素から居宅介護支援事業所、利用者ご家族との連携を密にとり、稼働率85%を保つ。
- ② 在宅での生活が非常に困難な方の受け入れを積極的に行う。

（要介護度の高い方〈要介護3～5〉の受け入れを重視する。）

2021年度の利用率は、93.14%、年度内利用者実人数は44人、その内訳は、男性16人、（平均利用日数：124日）女性28人（平均利用日数：172日）となっている。

令和4年3月31日現在の利用者の平均年齢は、男性79.2歳、女性87.6歳、全体では85.4歳となっている。

毎月季節行事、おやつレクリエーションや作業療法など、様々な行事を取り入れ、さらにユニットごとに集団体操を実施し、自立支援の取り組みを実施。

難病や、歩行制限がある方、在宅酸素を使用している利用者や重度の認知症の利用者など、医療依存度が高い利用者に対しても、受け入れ前に職員の勉強会を行うなど、積極的に受け入れるための取り組みを行った。

新型コロナウイルス感染症への対応として、ユニット間の移動制限、入所時抗原検査の実施、外出制限、WEB診療、窓越し面会など様々な取り組みを行い、感染予防を徹底した。

外出制限のため、入所者のストレスも高く、施設内でできる行事を毎月企画し、写真を取り、さらに、家族やケアマネジャー向けの広報誌「ほっと五本松の家通信」を作成し、配布を行って、施設内の様子を発信した。職員とともに近所への散歩なども行った。

### 3) デイサービス五本松の家

2021年度のデイサービス五本松の家の目標は、

- ① デイサービスが日常を過ごす場所の1つになるよう、利用者の生活のリズムや思いに寄り添った関わりを提供する。
- ② 新規利用者を増やす。一人一人の利用者の利用時間やケアプランを見直しする。
- ③ 稼働率50%を目標に行事・イベントの充実化を図る。

新型コロナウイルス感染症の影響により営業休止などのため、利用者数ならびに稼働率低下が著明となった2020年度(36.2%)と比べ、2021年度については、利用者数の確保、稼働率増加に重点におき運営を行った結果、稼働率は(58.2%)になった。

デイサービスについては、利用者の7-8割が認知症と診断されていることから、利用者の生活の質を保持できるよう、馴染みのある作業活動や自身で可能な動作を行ったり、

日常的な生活動作を取り入れ生活リハビリを中心に実施していくことで、心身機能の維持回復につなげる関わりを行った。

月曜日から土曜日までの各曜日に、女性比率が高い・男性比率が高い・男女同比率・処置の実施や介助量が高いといった、曜日による特色を設定し、新規利用者の目的に沿った受け入れができるよう配慮した。結果、既存利用者においても顔見知りの方と交流がしやすくなり、社会的孤立感の低減に繋がる体制を構築できた。

デイサービスのスケジュールとして、午前と午後に集団体操や脳トレを実施し、午後からは、月間スケジュールを作成し、季節に応じたレクリエーション活動や作品作り、運動等を実施した。また、希望者については、物理療法(低周波、ホットパック)、ウォーターベット、リハビリ有資格者による個別機能訓練などを実施した。

#### 【法人、職員、地域交流スペース等行事報告】

|    |                                                                             |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 4月 | 職員研修、職員健診(全職員対象:10日、17日、21日、24日)<br>評議員選任解任委員会(19日)<br>新型コロナワクチン接種(28日)     |
| 5月 | 町内一斉清掃参加(22日、24日)<br>新型コロナワクチン接種(看護師対象:18日、19日、24日)                         |
| 6月 | 監事監査(4日)<br>理事会(7日)<br>評議員会(書面決議、7日提案、22日決議)<br>入居者新型コロナワクチン接種(15日、22日、29日) |

|     |                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月  | 理事会（23日）                                                                             |
| 7月  | 入居者新型コロナワクチン接種（6日、13日、20日）<br>水害訓練（9日）                                               |
| 8月  | 夏祭り（4日）消防点検（10日）<br>福山医療学園説明訪問（31日）                                                  |
| 9月  | 敬老会（20日）消防設備点検（22日）<br>浴槽内レジオネラ属菌・大腸菌群検査<br>貯水槽清掃                                    |
| 10月 | 水質検査（14日）<br>職員健診（新入職員・夜勤者）（10日、14日、24日、31日）<br>インフルエンザ予防接種（29日）                     |
| 11月 | 館内清掃（5日、9日、12日、19日、29日）<br>福山市監査（福祉総務課：16日）<br>理事会（25日）<br>評議員会（書面決議、26日提案、12月10日決議） |
| 12月 | クリスマス会（23日）<br>もちつき（30日）                                                             |
| 1月  | 新型コロナワクチン3回目（28日）                                                                    |
| 2月  | 新型コロナワクチン3回目（1日、4日、8日、15日、25日）<br>消防訓練（28日）                                          |
| 3月  | 消防避難訓練（17日）<br>理事会（8日）<br>評議員会（書面決議、9日提案、22日決議）                                      |

### 【委員会・会議報告】

| 会議・委員会名     | 頻度・実施                     | 参加者等                                             |
|-------------|---------------------------|--------------------------------------------------|
| 経営・運営会議     | 週1回・月曜日                   | 理事長・事務局長・理事・事務・施設長                               |
| 運営推進会議      | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月より中止 |                                                  |
| リーダー会議      | 月2回                       | 施設長、主任・管理者・各リーダー等                                |
| 安全衛生会議      | 月1回                       | 施設長、主任・管理者・各リーダー、各専門職等                           |
| ユニットミーティング  | 月1回                       | 各ユニットスタッフ                                        |
| ケアプランミーティング | 必要時                       | 施設長、主任・介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士、機能訓練指導員、ユニットスタッフ、看護師等 |

|            |           |                  |
|------------|-----------|------------------|
| 事故防止委員会    | 月 1 回     | 担当委員（城平・各部署代表）   |
| 感染防止委員会    | 月 1 回     | 担当委員（石井・各部署代表）   |
| 身体拘束廃止委員会  | 月 1 回     | 担当委員（城平・各部署代表）   |
| 栄養・褥瘡防止委員会 | 月 1 回     | 担当委員（新山・森川各部署代表） |
| 企画委員会      | 2 か月に 1 回 | 担当委員（西原・各部署代表）   |
| 研修委員会      | 2 か月に 1 回 | 担当委員（正明・各部署代表）   |

## ■法人本部 事業報告

【理事会】6月7日、6月23日、11月25日、3月8日

【評議員会】6月7日提案6月22日決議、11月26提案12月10日決議、3月9日提案22日決議

【監査】6月4日

【評議員選任・解任委員会】4月19日

【運営推進会議】新型コロナ感染対策のため中止

【入所判定会議】5月30日、9月20日、11月30日

## ■地域交流スペース・法人事業報告

地域交流スペースでは、毎週月・水・金の午前中、「暮らしの保健室ふくまち」の相談事業を行った。毎週金曜日（10時半～11時半）には地域の方々、入居者家族などを対象に「おしゃべり体操教室」を行っていたが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大による中止、再開を繰り返した。

地域の人が集まって行う会は未開催であったが、「暮らしの保健室ふくまち」の紹介、取材を受け、さらに書籍「暮らしの保健室ガイドブック」に掲載される機会を得た。

## ■職員に関すること

2021年度採用者は、4人（介護職員1人、看護職員2人、作業療法士1人）退職者は3人となっている。

新型コロナウイルス感染症のため、新入職員歓迎会、定期的な職員交流会は開催することが難しかったが、情報共有のためにLINEワークスを取り入れ、さらに zoom を使用し、職員同士の情報共有、職員交流を図った。

地域活動への参加も積極的に行い、町内一斉清掃の溝掃除への参加、集会所の清掃等への参加も行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、月に2回～4回の職員への抗原検査またはPCR検査等を積極的に行い、感染予防管理を徹底した。職員や入居者の発熱や体調不良等の対応も、協力病院と連携して早期対応を行った。3月に1名の職員が新型コロナウイルス陽性となったが、標準予防策を徹底したことで濃厚接触者もなく、施設内での感染拡大には至らな

かった。早期対応、感染症対策が徹底できた。

## ■ 2021年度まとめ

2021年度は、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策、対応、予防、そして発症時の対応など、施設全体として様々な点を検討し、ショートステイの利用制限、利用者、入居者の外出制限、会議や研修会の開催制限、行事の中止などを行い、積極的にスクリーニング検査にも取り組み、感染症の拡大を防ぐことができた。

また、施設での看取りも定着し、スタッフ全員で看取りに取りくんでいく体制づくりができ、お一人お一人の状況にあわせて、ご家族とスタッフが一緒に看取りケアを行い、さらに専門的なガン末期のケアも行うことができ、2人の入居者のお看取りができた。

課題も多く残ったが、事業ごとの広報活動や、スタッフ主導のイベントやSNSの活用など、コロナ禍でできることを施設全体で模索し取り組む姿勢が確立できた。大きな行事や、外部とのかかわりは激減したが、そのような中でも、ご家族や地域への情報の発信、施設に関わっていただけることを模索しながら施設内行事を開催した。

2022年度も、引き続き感染症対策を継続し、デイサービス、ショートステイの拡充、利用者主体の運営、広報活動を実施して行く。